

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	重症ウイルス感染症における高次エピゲノム作動原理の解明と新規治療基盤の確立
研究代表者	<p>今井 由美子 （国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所・医薬基盤研究所 ワクチン・アジュバント研究センター・プロジェクトリーダー） ※平成29年6月末現在</p>
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、インフルエンザウイルス感染に伴う宿主高次エピゲノムの変動、ウイルスタンパクと宿主染色体の相互作用を解析し、ウイルス感染症の分子基盤の解明を目的としたものである。これまで応募者は、世界に先駆けてウイルス感染の宿主応答に焦点を当てた研究を進め、SARS の致死性病態への関与因子の解明、ウイルスの増殖を制御する宿主核内因子の同定など、先端の研究成果を発表している。これらの研究成果に裏付けされた本研究は、ウイルス感染症における宿主エピゲノム修飾の解明と、宿主細胞核機能を標的とした新規治療法確立に向けた世界的にも先駆的なものである。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>